

里だより

No.375

令和5年4月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



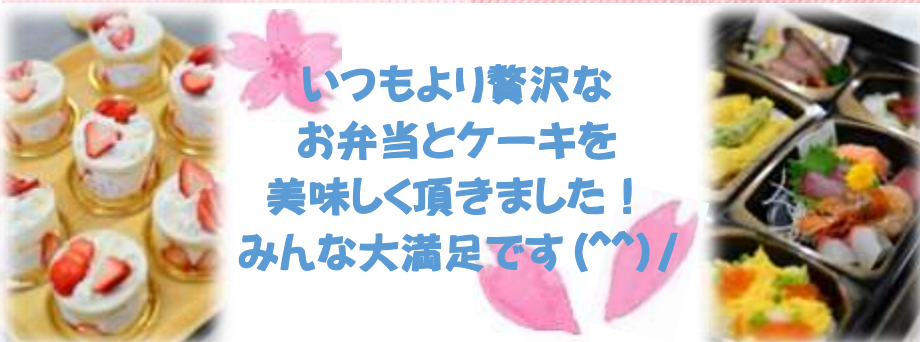
4

班

慰

労

会



いつもより贅沢な
お弁当とケーキを
美味しく頂きました！
みんな大満足です(^ ^)！



四月号もくじ

施設長より……………1

サビ管より……………2

主任より……………3

調理場より・行事報告……………4

行事予定・

ありがとうございました・

退職者あいさつ……………5

編集後記……………7

(ページ)

つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

新年度にあたり



令和五年度が始まりました。これまでのコロナ禍を幾分かは払拭できる一歩が踏み出せそうです。また、日課を見直し、新しい体制でスタートします。利用者さん、ご家族にご心配をおかけする部分も多々あるかとは思いますが、一日でも早く安心していただけるように努力してまいります。

さて、新型コロナウイルス対策を始めた令和二年から、三年が経ちました。この三年の間に社会は大きく変化し、コロナの閉塞的な話題から、最近では熊本進出のTSMCの大きな経済成長を期待できるような話題まで様々です。特にTSMC関連では、拠点となる菊陽町とその周辺の市町村にとつても、大きな変動の時期を迎えそうです。人口の増加と共に、住宅地やインフラ整備、外国の方の受け入れなどが予想され、既に近隣では用地買収の話など不動産関連の動きも耳にすることが増えました。

福祉関連においても変革の大きな波が寄せていると思われます。少子化での人口減少が問題となつていますが、熊本県では合志・菊陽・大津の人口が右肩上がり。おそらく若い世代が増えていく中、2035年問題との兼ね合いも出てきます。団塊の世代が抜けた穴を埋められるのか、必要とされているものを補填出来るかということには疑問が残ります。AIの進化で人は職を失うかもしれないと言われている時代です。「日本は高度経済成長期が終わる、オートメーション化が進み、人の仕事を機械が取って代わる時代がくるかもしれない」と私が小学生時代に社会教科で

習ったことが現実になろうとしているのかもしれませんが。ここ数年でのデジタル関連の進化は目まぐるしいものがあります。今後、これまで以上に人がついていけないぐらいの急激な進化になるのでしょうか。私個人、既についていけないかもしれませんが…(汗)

皮肉なものですが、医療・福祉関係は今後も人材は不足していくとされています。裏を返すと、それだけ人の手が必要な仕事だということですし、機械では補えないものが多い職業です。介護ロボットも開発されていますが、まだ支援者のサポート的な役割から脱していないと言えます。AI技術の進歩により、簡単な質問の回答や会話は出来つつあるようですが、身体的介護・援助や人としての尊厳を守るのは、これからも「ひと」に委ねられるのではないのでしょうか。

コロナ禍になつて、何もかもが制限されそうな閉塞感が漂う中、読み直した本があります。一〇年程前に発刊された渡辺和子さんの『置かれた場所で咲きなさい』。人と人が接するのが大前提の仕事をするうえで、自分自身がどのようにあり続ける必要があるかを見直せる一冊です。先が見えないときは、不安がつきもので、利己的な視点に陥りそうですが、自分のありようと、また、周りの方の有難みに気づかなければなりません。基本理念に設けている「(中略)社会福祉援助者としての価値を見出し…」とは、この仕事をする意義や誇りをもつて続けていくことにつながります。その気持ちを持つて、令和五年度も利用者さんの支援に従事してまいります。今後とも、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

施設長 松永一博

サビ管より

当たり前が当たり前でなくなること

日に日に温かさを肌で感じられる季節となり、春の訪れを予感させてくれます。長い冬眠から目覚めたミツバチたちも啓蟄を過ぎたあたりから忙しく飛び回っています。例年この時期になると桜がある程度開花していますが、十六日時点では熊本県の桜の開花宣言はまだのようです。

さて、感染予防として日本全体が取り組んできた新しい生活様式も緩和されました。今年の五月には新型コロナウイルスも5類へ分類されます。今まで当たり前に着用していたマスクも今では個人の判断となっています。三月は卒業式、四月は入学式を迎え、マスクなしでの初々しい表情を見られるのは何年ぶりでしょうか(着用は個人の判断になりますが)。コロナ禍以前の生活が少しずつ戻りつつありますが、感染予防のため、状況や場所によってはマスクの着用が推奨されています。メディアの報道によると、マスク着用が当たり前となっていた状況からマスクを外すことへの抵抗がある方も多いようです。今までの当たり前から抜け出すことへの難しさを感じます。

令和五年度を迎え、当施設も新体制となり利用者の方の日課が変更されました。新しい日課に少しずつ慣れてもらうため、三月より施行期間を設けました。変更を受け入れることができる利用者の方、受け入れることが難しい利用者の方、様々です。

マスク着用から抜け出すことでさえも抵抗があると感じている人たちもいる中で、利用者の方は私たち以上に当たり前の日課から抜け出すことが難しいのだらうなと思います。戸惑ったその都度、根気よく丁寧伝えていくことが必要ですし、新しい日課に沿った行動が難しい利用者の方に対して、どうしたら理解しやすいかを考えて対応していかねばなりません。理解し行動してもらおうための支援が、どれだけできるかだと思えます。根気強く・丁寧に、時にはのんびりと一息つきながら新しい日課に慣れてもらえるよう利用者の方と共に歩いていきたいと思えます。

マスク着用が個人の判断となりましたが、当施設では、感染予防の観点からマスク着用は継続していきます。プライベートでは個人の判断です。花粉症に悩まされている私は仕事でもプライベートでもマスクは着用必須。マスク生活から抜け出すことは当面難しいみたいです…。

ほっと一息つける場面を求め、花粉症と闘いながら桜の開花を待ちたいと思います。最後になりますが、令和五年度もご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

支援係長 竹下 幸樹



主任より

利用者主体



桜がチラホラ咲いてきて、春めきワクワクする季節になりましたね。卒業した学生や春休みを過ごす子どもたちの姿、お店や広告で「新生活」の文字を見ると、必要のないに自分も何か新しい物を揃えたくなくなってしまいます。

ふわふわした気持ちとは反対に、現実に戻ると、考えることを行うことが多く、毎年五月末頃までは何かとバタつく日々です。前年度の結果や反省を踏まえ、次年度に活かせるように、「無い頭」をフル回転させなければなりません。

私が携わる中で、令和四年度の反省点は、利用者さんへの説明が不足していたことです。例えば、外出についての話をすると、Aさんに情報が伝わると、気になり落ち着かず夜間の睡眠に影響するため、情報が漏れないように配慮したところ、Bさんに伝えるのが当日の外出数時間前になってしまい「聞いたとらんだった」と苦情に繋がることがありました。また最近でも、新体制の動きを試す期間に入り、いつから始めどのような動きをするかという説明が当日になってしまったり、洗濯物を出す曜日や内容が利用者さんに伝わっておらず納得いかない不満を招いたり。

利用者主体と謳いながらも、実際の現場では「自己決定」「自己選択」の場面を当たり前のように職員が流し、実は職員が利用者さんのことを決めることが多いのではないかなと感じています。不満を話して下さる利用者さんがいるから、それに気付くことができるわけで、自己表現が難しい利用者さんばかりを支援する

場合であったら、今自分はどのような支援をしていたらうか。永くこの仕事をしていることで慣れが生じて感覚がずれ、間違った支援をしていたのではないかと思うとゾッとします。日々の仕事が学びの場で、それ以外で情報を得たり勉強したりしているつもりでも、実践できなければ意味をなさない、自分の実力不足・勉強不足・行動力不足を、身をもって感じているこの頃です。

令和五年度は、利用者さんへの分かりやすさ、説明、自己選択を話し合い、進める事を大切にします。

主任支援員 中尾 麻里子

施設PR委員会 今月の1枚！



桜の下で記念撮影



調理場より



令和4年度は日清医療食品様の企画で、上期にシャインマスカットや白桃などの旬の高級フルーツを、下期は4種類のケーキから選択できるスイーツを提供していただきました。

その他、月に一度、郷土メニューを取り入れて季節感や各地の食文化を味わっていただきました。なんでも残さず「おいしい」と言って食べてくださる利用者さんですが、最年長の93歳から一番若い方は24歳と70歳程の年の差があります。食事量にも差がありますが、お好きなものは変わりません。みなさんの健康を考え、笑顔を思い浮かべながら今年度もおいしい食事を提供したいと思えます。

令和5年度も日清様のスイーツセレクトを継続していただけるようで、4月の季節限定ケーキは「福岡県産あまおう苺モンブラン」です!! (管理栄養士 奈須)

行事報告

※ 2/21 (火) ~ 3/20 (月) の実施分について報告いたします

★ 生活介護④班慰労会【2月28日(火) つくしの里】

利用者の皆様にリフレッシュして頂こうと慰労会を実施しました。

午前中はドライブを行い、昼食はお弁当とケーキをテイクアウトしました。刺身に鰻重、ローストビーフなど多様なメニューが並び、すごいボリュームで皆さん食べきれるか心配でしたが、ぺろりと召し上がり「たくさん入っていたね」「お肉がとても美味しかったよ」等々の感想を述べ、楽しいひと時を過ごされました。(支援員 外山)

★ バイキング昼食会【3月2日(木) つくしの里】

今回はパエリア・ローストビーフ・サラダ・キッシュ・かぼちゃのポタージュと、種類が豊富なイチゴスイーツの「いちごフェア」でした。柔らかお肉のローストビーフは、どの班からも人気でした。イチゴスイーツでは、定番のショートケーキを始め、タルト、クレープ等、利用者の皆様もどれにしようか悩まれていました。皆さん残さず食べられました。食後は、「ローストビーフ美味しかった」、「ケーキ4個も食べた」と満面の笑みでした。

(支援員 小城)



旬のいちごは瑞々しく、そのまま食べてもおいしかったです(*^^*)

行事予定

☆ 入職式・辞令交付式・永年勤続表彰（つくしの里）

期 日：4月3日（月）

内 容：1名の新入職員を迎えると共に、8名の職員が永年勤続表彰を受けます。



☆ 利用者健康診断（つくしの里）

期 日：4月19日（水）・26日（水）

内 容：しっかり診てもらって健康管理に努めます。



☆ 施設・後見人・家族情報交換会（つくしの里）

期 日：4月29日（土）10:00～

内 容：令和4年度の事業報告等を予定しています。是非ご出席ください。

御礼



親切会様より洗濯機を寄贈して頂きました。グループホームで大切に使用させて頂きます。ありがとうございます。

誠にありがとうございました。利用者さんの為に使用させて頂きます。

【寄付・寄贈】
・今坂 桂子 様 ・後藤 弘子 様
・長島 章子 様 ・古川 信子 様
・光永 順子 様 ・山口 静美 様
・田代 千恵子 様 ・中島 秀子 様
・竹山 眞事 様 ・廣瀬 悦美 様
・つくしの里保護者会 様

【寄付・寄贈】

今月の掲載分は、
令和五年二月二十一日～
令和五年三月二十日です



ありがとうございました

退職者あいさつ

三月三十一日付で七名の職員が退職いたします。この場をお借りしてご挨拶申し上げます。

○ 木庭 由香 【支援課長】

（平成九年四月採用）

学校の先生に「河野先生(当時の施設長)は素敵な人よ。勉強できるよ。」と言われ、それならば！と私のつくしの里人生が始まりました。入職当時、河野園長もお元気でしたので、つくしの里で働くこと、社会人として働くことをいろいろ教えていただきました。つい最近まで河野園長に怒られる夢を見るほど濃い経験でした(笑)

本当にいろいろな勉強をさせてもらいました。その中で、これからチャレンジしてみたいと思うことが出来ましたので、卒業みたいな感じでつくしの里を離れる決断をしました。学卒で至らぬことが多かった私をここまで見守り、ご指導していただいた皆様、本当にありがとうございます。笑顔で終える自信がありません。お見苦しい姿を見せるかもしれませんがご了承ください。

○ 上村 啓祐 【支援員】

(平成二十年四月採用)

十五年間、つくしの里でお世話になりました。長いようであつという間の時間だったと思います。新社会人になるという不安な気持ちを抱えながら迎えた入職式を昨日のように覚えています。

失敗ばかりで上司や同僚、利用者様や御家族様に御迷惑をお掛けしてしまい、申し訳ない気持ちが大きいのですが、何より、こんな私を温かく迎え入れてくれた皆さんには感謝しかありません。多くの経験と学びがありました。新たな道に進むと決意したにも関わらず、寂しい気持ちに押しつぶされそうです。ここで経験させていただいた事を決して無駄にせず、役立てていきます。最後に、つくしの里の今後の発展と、利用者様・御家族様・職員の皆さんの健康とご多幸をお祈りいたします。本当にありがとうございました。



○ 甲斐 洋平 【支援員】

(平成二十五年四月採用)

つくしの里で十年間お世話になりました。新卒で入職し、「チャラチャラしたやつがきた」と、当時の職員に言われたことがあります。そんな事ないのになあと自分では思いながら(笑)。しかし、その先輩方のおかげで社会人として、大人として成長する事が出来たと思っています。

まだまだ未熟な私ではありますが、つくしの里で過ごした十年間は、これからの「財産」として、ステップアップしていきます。

今まで本当に大変お世話になりました。

○ 三木 聡之 【支援員】

(平成二十六年四月採用)

工場に勤めていた私は、人と関わる仕事をしてみたいと思い、障がい者施設のボランティアに行きました。利用者の方が「職員さんに本当に感謝している」と話されたのを聞いて私もこの職員さんのようになりたいと思い、大学で勉強して、つくしの里に就職しました。

自分なんかと消極的になっていた私を、温かく迎え入れてくれたのは先輩方、同僚、利用者の皆さんでした。こんな風に人の気

持ちを助けられたらと思つて働いてきました。私自身が皆さんに救われる事ばかりの九年間だったと思います。自分の環境が変わっても、その気持ちはこれからも大切にしていきたいと思っています。

つくしの里での経験を忘れずに、これからも福祉従事者として貢献していければと思つています。今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。

○ 村上 加奈 【支援員】

(平成二十八年四月採用)

いきいきグループ三年、きらめきグループ四年と計七年勤めさせて頂きました。入職した時は熊本地震の年でもあり、ばたばたしていたにも関わらず、沢山の方から様々な事を教えて頂きました。

私は小さい頃から人を助ける仕事が好きで、つくしの里で働きましたが、利用者さんは、障害や病気を持ちながらも、私が疲れていたたりすると「元氣ないね」等と励ましていただき、私の方が助けられた事が多かったように感じます。

今後は、ここで学んだことを次に繋げていきたいと思っています。

今までありがとうございました。

○ 池田 朋哉【支援員】

(平成三十一年四月採用)

大学を卒業し、社会人としてまだまだ未熟であった私を快く受け入れて下さって早四年が経ちました。時を刻むごとに、自身の至らなさや成長を感じながら、周囲の方々に支えられ、ここまでやってこることが出来ました。

これから違った環境に飛び込んでいく事にはなりますが、つくしの里で学ばせていただいた経験は自身にとって財産です。この経験を糧にもっと自身を成長させたいと思います。これまでご指導いただいた皆様、本当にありがとうございます。

○ 矢澤 千夏【支援員】

(令和四年五月採用)

つくしの里に入職し、福祉業界で経験していく事を覚悟して挑みましたが、想像していたものと違う大変さを感じました。きつい事の反面、楽しく嬉しかった事の方が多かったと実感できます。

何もわからない状態の新人に良くして下さい、すぐ嬉しかったと同時に有難みを感じました。今後、自分が想像していなかった苦痛や困難にぶつかると思いますが、つくしの里での経験は、きっと役に立

つと思うので、変わらず精進したいと思います。一年未満ではありましたがお世話になりました。

編集後記

三月下旬、つくしの里の桜も満開を迎え、外で運動する利用者さん達の足取りも、いつもより軽やかに見えます。

「退職者あいさつ」にあるように七名の職員との別れがありました。非常に残念ですが、新たな一步を応援したいと思えます。令和五年度がスタートしました。気持ちを新たに利用者さんに寄り添って、邁進していきたいと思います。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。



インスタ開設しています♪
良かったらご覧ください(^_^)
フォローもお待ちしております！



seiwakai.tsukushinosato フォローする メッセージを送信
投稿53件 フォロワー68人 フォロー中0人
つくしの里 (熊本県 大津町)
障害者支援施設です。
開設当初から玄關で見守っている徳島県のみねまスコットキャラクターに
施設の様子などを紹介します。
www.tsukushinosato.or.jp

